

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : カスケディア・コミュニティ・カレッジ

留学期間 : 平成 28 年 3 月 12 日 ~ 平成 29 年 1 月 11 日

アメリカ、シアトルで留学をする前に、“留学”は自分の人生を変える！と言っていくらの経験だ。と留学をすでに経験なされた先輩方や先生がおっしゃっていました。正直なところ、それを聞いたその時の私は、「人生まで変える」そこまでの威力があるのか、と少し疑問に思っていました。ですが、10ヶ月、アメリカでの留学を終えた今は、先輩方がおっしゃったことはその通りだと自信を持って言えます。もし私に、留学を控えている、もしくは留学を考えている後輩に何か留学について伝える機会があるのであれば私は先輩方が私におっしゃったように、留学はあなたの人生さえも変えるかもしれません。と伝えるでしょう。しかし、私はその言葉に少し加えて、留学は人生を変えるでしょう。あなたの考え方や行動次第で。と言いたいです。10ヶ月の留学を経て、一言で1番私が学んだことはこのことです。もちろん時にはその時の運や環境で、良い事もそうでない事も起こることもあります。ですがその中で私は、大抵の事は自分自身のそのものに対する考え方や行動次第でほとんどの事がいいようにも、悪いようにもなる、ということを留学中のたくさんの経験から学びました。さらに、留学は人生を変えると私が感じた理由は留学中の経験で学んだ2つの私にとって新しい考え方に出会ったことからです。

1つ目は、困難への向き合い方です。留学は、新しい環境で新しいことを学び、わくわくし、楽しいこともたくさんあります。しかしその反対に、その土地で生活する上で、環境面や言語の問題、初めて知る人の考え方や文化に直面した時、やはり困難に出向かう場合もあります。例えば、私が取っていた1つの大学の授業では、個々の意見の主張や表現をたくさん求められる授業がありました。周りの学生に私と同じ留学生はごく少なく、ほぼ現地の学生ばかりでした。日本語でさえも、私は自分自身の考え方や気持ちを言葉で表現することを苦手とずっと感じていました。その中でアメリカ人の他の学生と同じように授業で自分を表現することを求められることに、初めはすごくストレスに感じていました。しかし、このままではこの短いアメリカで勉強できるという機会を、ただストレスと戦ったという気持ちで終わらせたくない。楽しんで全力で学び、頑張った。と言いたいと心から思いました。それなら、とにかく楽しんで学んでやろう！まず全力で向き合ってみよう！ただそれだけの気持ちで、その授業に向き合おうと自分自身に言い聞かせてみました。また、その日1日の授業で、何か成し遂げたいという思いから、最低でもその授業で1番に発言する、など自分ですることリストを毎回用意して授業に向かったりしました。こういった少しの考え方の変化と毎日の行動で、そのクラスが終わるにつれてどんどん自分自身の気持ちや考えを自分らしく伝えるということ心地よく感じるようになっていったのを感じていました。また、その努力を先生やクラスメイトは見ていてくれて、私が何かつまづいている時やわからない時、気づいて声をかけてくれたり、力になってくれました。嬉しかったのは、その小さな努力を、周りの人がふと気づいてくれていて、よく頑張っているね、何か手伝えることがあれば言ってね、と先生やクラスメイトが声をかけてくれたことで、今でも思い出すと心が温かくなります。小さな困難

でも逃げずに、考え方を変えて、少し頑張ってみることで、新しい価値観や考え方に出会えたり得たり、嫌いだったことが楽しくなってきたりむしろ好きになったりもできます。また、その頑張っていることで、少しずついた時に周りの人がふと、助けてくれたり、それによって周りの人の存在のありがたさをも学ぶことができます。このことが私の感じた留学は人生を変えるという1つの要素です。困難から逃げずに、どう向き合うかによって、良くもそうでなくもなると学んだことは、楽しく学び、成長する、という私の目標でもある考えの基礎になりました。また、これから生きていき、よりたくさん経験と出会う私にとっても大切な考え方です。

留学は人生を変えると私が感じたもう1つの理由は、人はどこにいても、背景や文化、生まれた場所が違えど、同じ人だということ、留学を経て学んだことです。当たり前のように聞こえますが、全く自分とは違う人生の背景や文化、考え方を持った人と出会った時、初めは驚いたり、どう接していいか迷ったりすることはあります。しかし、相手と同じ人間として対等の立場で接し、コミュニケーションをとってみることで、同じ気持ちや人としての考えや思いを共有したりすることができます。また、相手のことをわかってあげることでもできます。そこから相手を思いやることのできるのです。私の通う専門学校では、常に相手に対してホスピタリティを持った行動を心がけることを大切にしています。留学に行く前の私はホスピタリティとは、相手を思いやる行動をすることだと信じていました。たしかにそうですが、今私が思うホスピタリティとは、それだけでなく、文化や国、生まれた場所、人生の背景が人それぞれ違って、人対人として同じ立場に立って相手のことを考えて行動ができるということだと思います。このことは、留学中に会ったたくさんの方が、“留学生の日本人の私”ではなく、1人の人として接してくれたことから感じたことです。この、人は人という考え方を学んだことから、本当の意味での、世界、どこにいても通用するホスピタリティとは何かを考え、学ぶことができました。そしてまた、留学で得た英語、学んだホスピタリティで、将来何がしたいのか、何で世界に貢献できるのか考える道を与えてくれました。人は人だと学んだことは、国際人を目指す私にとって、とても大切な考えを得た大きな進歩だと感じます。

10ヶ月で得たこの2つのことによって、留学は人生も変える、素晴らしい体験だと学ぶことができました。個人によって得る経験や感じることは違いますが、留学で新しく出会う人々や経験、そして自分自身の考え方や行動によって、人生を変えるかもしれない経験や考え方をたった10ヶ月の留学で得ることができます。それが、留学だと、アメリカで10ヶ月留学をしてわかったことです。